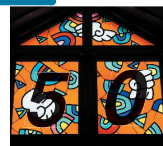


2005.11.13 司祭のてがみ No. 25

行橋カトリック教会・豊津巡回教会 主任司祭：ミカエル山元眞



みんなで囲もう、主の食卓…11・27

今年は行橋小教区（行橋・豊津教会）が創立して50周年です。創立記念日の11月27日が近づきました。お互いに声をかけあってみんなで神さまに感謝の祈りをささげましょう。感謝のミサは12時から松永司教主任司式で行われます。聖堂には入り切れないので、幼稚園のグラウンドにステージを作り、祭壇を据えてミサをささげます。みんなで一つになって祈りましょう。幼稚園の教会側の2教室も使えます。温かくしておきますので、どうぞご利用ください。この教室からもミサの様子は見えますが、よくわかるようにモニターテレビを置きます。当日の天気心配ですが、どのような天気でも、それが神さまからのプレゼントですので喜んでお受けしましょう。元気な方はグラウンドで祈りましょう。椅子を準備します。全席自由席！ 行橋、豊津以外からもたくさんの方がみえますので、信者の皆さんは、かたまりしないで、ばらばらに散って、できるだけ知らない方といっしょに席につくようにいたしましょう。よろしく願います。

今までの準備…

記念日の感謝の集いについては、具体的には二年前から始まりました。まず「行橋小教区創立50周年を迎える祈り」をみなさんと

唱えることから始まりました。11月27日からです。その前の10月18日にマザー・テレサが列福されました。わたしの大好きなアシジの聖者、フランシスコの影響を受けて生き方を決めたマザー・テレサの取り次ぎを祈ることを決めました。愛に満ちた共同体として成長することができますように…と。

福者コルカタのマザー・テレサは50周年を準備するわたしたちのために、確かに神さ

まに必要な助けを取り次いでくださいました。マザーを通していただいた恵みは数え上げることはできません。先日、講演に来てくださった千葉茂樹さん（映画「マザー・テレサとその世界」の監督）が、いみじくも言うてくださいました。「この教会にはマザー・テレサがいるよ！」ととてもうれしかったです。

たくさんのプレゼント…

神さまから、たくさんのプレゼントをいただきました。多くの善意の人々を通して…。たくさんのお恵みをいただいて、わたしたちの「やさしい、おもしろいところ」が、だんだん大きくなっていきました。お祝いするためにお金がどのくらい必要なのかを考えました。250万円と決めました。心配しましたが、実際には500万円以上の献金が集まりました。神さまのお望みはなんでしょう？



神さまが、そうしたい…

50周年を準備するにあたって考えたことは…神さまの望むお祝いの仕方はどんなものだろうか…ということでした。特に主日（日曜日）に聞く聖書の言葉に耳を傾けました。そこに示されていることは一環していました。神さまは、どんな人でも一人ひとりを大切にしておられること。そして、そのようにわたしたちも互いを大切にする。まだまだ、いろんなたくさんの方がいるかも知れませんが、このことが一番大切なのではないかと思います。

創立記念日の祝い方の基本的な考えが決まりました。「みんな」で祝うこと。一人ひとりが大切にされること。できることをすること。それを基本に少しずつ、いろんな具体的なことが決まっていきました。いくつかの例を挙げると…。典礼（祈り）をこころのこもったものにすること。そのために日曜日の典礼を大切にしていくこと。当日のお祝い会ではすべてをメインテーブルにする。上席、末席のないすべてが自由席であること。祝儀などはいただかない。当日のミサ献金はすべて、助けを必要としている方々に送ること。必要な諸経費のために無記名の自由献金を呼びかけること…など、たくさんありましたが、すべて、わたしたちが思っている以上の結果を見ることができています。これを見ると、神さまが、そうしたいんだ！ なんて思えてきます。わたしたちの小さな「仕事」の不足分は神さまが有り余るほど補ってくださっています。

いちばん驚くこと…

驚くことがいっぱいありますが、いちばん驚いていることがあります。それは、日曜日に読まれる神さまの「み言葉」です。特に記念日が近づいている最近の「み言葉」です。

先週6日の福音。「十人のおとめ」のたと

え話です。賢いおとめは壺に油を用意していました。この油はわたしたちの小さな愛の行いを意味しています。それが、いざというときに役に立ちます。

今週13日の福音。「タラント」のたとえ話です。「タラント」はギリシャのお金の単位で、1タラントは6000デナリオ。1デナリオは一日働いて得られる賃金ですから、1タラントは約20年分の給与に値します。大金です。主人から1タラント託された人は「主人を恐くて厳しい人」だと理解していたので、そのお金を土の中に埋めて、そのままにしておきました。一方、5タラントと2タラントを託された人たちは、それを基に、さらに5タラント、2タラントをもうけて主人に返しました。この二人はとてもほめられて、さらに多くの財産を託されました。どこが違っていただいのでしょうか。主人に対する理解の違いです。1タラント託された人は、主人を恐がっていました。あとの二人はばく大な財産を託した主人の信頼に気づいていました。その信頼に応えようとしたのです。…わたしたちが神を信じ、信頼する前に、神の方がわたしたちを信じ、信頼してくださっているのです。わたしたちにとって、神は怖い方ですか？

さて、来週20日の福音です。記念日の直前の日曜日の神さまのメッセージは…。「わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである」というイエスの言葉です。あの福者コルカタのマザー・テレサの生き方を変えた言葉です！ 神さまはこの50周年の機会に、一生懸命わたしたちに呼びかけています。神さまの望みをわたしたちが実現してくれるように。神さまはわたしたちに期待しています。神さまはわたしたちを信頼しています。

こんなにたくさんの恵みをいただいているわけは、ここにあると思っています。